

科目名	国際看護学 Global Nursing			担当教員 (研究室番号)	清水 真由美 (408)		教員への連絡方法 (メールアドレス)		mayumi.shimizu@mcn.ac.jp				
履修 年次	3年次 前期	科目 区分	総合科目			選択 区分	必修	単位数 (時間)	1 (15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
												オープンクラス	否
科目 目的	人々の健康をグローバルな視点で捉え、健康問題・健康格差の背景や現状を理解し、格差は正への取り組みに対し、看護職として貢献するための基礎的な知識と態度を学ぶ。												
ディプロ マ・ポリ シー (DP)	主要なDP	C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)											
	関連するDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)											
到達 目標	1. 国際保健・看護および国際協力の基本概念と必要性を説明できる。 2. 地球規模的な健康問題・健康格差とその関連要因を説明できる。 3. 地球規模的な健康問題・健康格差を改善するための国際協力諸機関の取り組みと国際保健・看護活動の展開について説明できる。 4. 国際保健・看護活動において、看護職に求められる資質や役割、多文化理解の必要性について説明できる。												
成績評価方法 (基準)		試験 (75%)、課題 (25%)。授業の2/3の出席をもって評価の対象とする。遅刻3回をもって欠席1回とみなす。なお、課題において剽窃等が認められた場合は、評価の対象としない。											
再試験の有無と 基準等		科目の合否判定で不合格となった場合は、再試験を実施する。再試験は筆記試験とし、それまでの課題や出席状況は再試験の評価に加味しない。											
教科書		国際看護学入門 第2版 日本国際看護学会編集 医学書院											
参考書等		ユニセフ：世界子供白書（年度等は後日提示する） *ユニセフのホームページよりダウンロード可											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待		グローバル化、新興感染症などにより、日本に暮らす私たちも他の国・地域で起こることと無関係でいることはできません。国際保健・看護の学びを通して、国際的な視点を育てることは、海外のみならず、国内の保健医療機関で働く上でも重要です。地球規模で考え (Think globally)、足元から行動(Act locally) できる看護職を目指してください。状況に応じて、ペアによる話し合いやグループワークなどを採り入れます。話し合いの結果は積極的に全体に共有してください。											
備考													
回	学習項目					学習内容					主担当 教 員	授業 方法	
1 回	国際保健・看護を学ぶ意義 世界的な健康問題と健康格差の現状					国際保健・看護の概念と意義について学ぶ。 世界的な健康問題と健康格差の現状を学ぶ。					清水	講義	
2 回	国際協力のしくみ 国際保健・看護の基盤となる考え方					世界と日本の国際協力の組織・活動の実際を学ぶ。プライマリヘルスケア、人間の安全保障、ミレニアム開発目標、持続可能な開発目標について学ぶ。					清水	講義	
3 回	国際協力活動の実際：青年海外協力隊の活動					ラオス人民民主共和国における保健師隊員の活動を通して国際協力の実際を学ぶ。					荻野	講義	
4 回	開発途上国における保健医療の現状 小児保健					開発途上国における乳幼児の健康課題とその要因について学ぶ。					清水	講義	
5 回	開発途上国における保健医療の現状 母子保健					開発途上国における女性の健康課題とその対策を学ぶ。					清水	講義/ 演習	
6 回	世界の3大感染症					世界の三大感染症の現状とその対策を学ぶ。					清水	講義	
7 回	在留外国人の健康課題					三重県における外国人住民の現状・課題・支援の実際について学ぶ。演習を通して「やさしい日本語」を学ぶ。					学外 協力者	講義/ 演習	
8 回	文化を考慮した看護 国際協力活動の実際と看護職の役割：国際救 援活動					対象の社会・文化的背景を尊重した看護とその適切な看護の提供について考える。災害の被害や被災民に対する緊急支援の現状を学び、国際救援活動における看護職の役割を考える。					清水	講義	

学 習 課 題	
課題	資料を読み解答するなどの課題を複数回実施予定（配点15点） 世界子供白書を用いて、4か国（カメルーン、日本、インド、ラオス）の保健指標等を記入用紙に記入し、アセスメントする。（配点5点） 「ある乳児の生と死—ラクの場合『ラクの物語』」を読み、質問に対する回答を考え、記入用紙に記述する。（配点5点）
実務経験を活かした教育の取組	
・担当教員は、看護職として国際協力の実務経験がある。国際保健・看護の教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。	